

第26回 地域を活かす科学技術政策研修会 in 福島県郡山

医療・ヘルスケア産業の加速に向けた ボーダレス・エコシステムの形成

医療・ヘルスケアについて、産学官の専門家を招いて、ワークショップを含めたセミナーを開催致します。この分野において、先駆的・先進的な取り組みを展開する福島県郡山市、兵庫県神戸市、神奈川県川崎市の事例をもとに、ボーダレスなネットワークやエコシステムについて理解を深めるとともに、創薬と医療機器開発における産学のアプローチの課題を認識し、解決を模索する2日間です。

2019年 2月4日(月)・2月5日(火)

13:00-17:40

9:00-15:00

ふくしま医療機器開発支援センター

〒963-8041 福島県郡山市富田町字満水田 2 7-8 TEL 024-954-3504

アクセス <http://fmddsc.jp/access/> JR郡山駅より 車で15分
※当日はJR郡山駅から送迎バス(有料)があります。

主な講演者・パネリスト

- 西村 俊彦 スタンフォード大学 LDDDRS ディレクター
菊地 眞 ふくしま医療機器産業推進機構 理事長
仲西 孝弘 神戸医療産業都市推進機構 シニア・コーディネーター
三浦 淳 川崎市産業振興財団 理事長
野村 龍太 実験動物中央研究所 理事長

研修参加費 無料

※意見交換会 3,000円 当日承ります。

定員 140名

※定員になり次第、締切りとさせていただきます。

お申込方法

申込サイト <https://jah.jp/jarec/index.cgi>

事前登録の締切は
2月1日です。



お問合せ

公益財団法人全日本地域研究交流協会
TEL 03-3831-5911 担当 鈴木・中崎・栗原

主催 公益財団法人全日本地域研究交流協会
共催 福島県(予定)

国立研究開発法人科学技術振興機構
後援 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
公益財団法人川崎市産業振興財団

1日目 2月4日(月)

【開会挨拶】 主催者・共催者挨拶 (13:00-13:30)

I 【基調講演】 (13:30-14:30)

「創薬のボーダレス・エコシステムの実現に向けて」

西村 俊彦 Director (Co-Director, Ronald G.Pearl)

スタンフォード大学 Stanford University
Laboratory for Drug, Device Development and Regulatory Science

スタンフォード大学における最新の基礎研究、前臨床POC迄の取組み、年間600を超える臨床試験のマネジメントシステム・ハーバード大学との共同研究による生物統計学の進捗状況、FDA・NMPAとの包括的でInterdisciplinaryな戦略について講演する。また創薬の成功率が1/30,000という現状にあって、日米欧・アジアの先端研究と開発ポテンシャルを生かしたボーダレスなアライアンスと最適・迅速な創薬システムの合理化戦略を共に模索する。

II 【国の戦略と支援】 (14:30-17:40)

「国のエコシステム実現に受けた戦略」

国のエコシステム実現に向けた戦略と支援制度について、内閣官房・文部科学省・経済産業省・農林水産省・日本医療研究開発機構 (AMED) および科学技術振興機構 (JST) よりその戦略と最新の施策を紹介する。

内閣官房 (14:30~15:00)

「総合イノベーション戦略とバイオ分野の振興」

内閣官房 審議官 松尾 浩道

文部科学省 (15:00~15:30)

「健康・医療分野の研究開発の推進」

文部科学省 ライフサイエンス課 課長 仙波 秀志

(コーヒーブレイク 10分)

経済産業省 (15:40~16:10)

「ヘルスケア産業の発展に向けた戦略」

- AIと医療・ヘルスケア機器の進化・将来展望 -

経済産業省 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室
室長補佐 笛木 知之

農林水産省 (16:10~16:40)

「食を通じて健康に - 食による健康長寿社会の現実に向けた技術開発とその将来像」

農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究開発官室 研究調整官 中野 明正

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (16:40~17:10)

「AMEDにおけるゲノム研究・基盤・人材」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 基盤研究事業部
部長 加藤 治

国立研究開発法人科学技術振興機構 (17:10~17:40)

「ライフサイエンスにおけるデータ統合の取組について」

- NBDCの事業紹介 -

国立研究開発法人科学技術振興機構
バイオサイエンスデータベースセンター
企画運営室 室長 星 潤一

(名刺交換 20分)

【意見交換会】 (18:00-19:30)

会場 ふくしま医療機器開発支援センター内会場

※会費3,000円/人は当日申し受けます。



2日目 2月5日(火)

III 【ワークショップ】 (9:00-15:00)

取組紹介1 9:00-9:20 (20分)

「大学におけるTranslational Research活動への取組」

東北大学大学院医学系研究科附属創生応用医学研究センター 非常勤講師・順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床研究・治験センター 研究開発企画室/革新的医療技術開発研究センターオープンイノベーションプロジェクト準備事務局

プロジェクト開発エキスパート
奈良 環

討議1 9:20-9:40 (20分)

「大学におけるTranslational Researchを企業に繋げるための課題と解決策」

ファシリテータ 須佐 太樹
ライラックファーマ株式会社 (北海道大学ベンチャー) 代表取締役
北海道大学 産学・地域協働推進機構 産学推進本部
産学協働アドバイザー

取組紹介2 9:40-10:00 (20分)

「基礎研究・臨床応用・産業化への一体的な仕組みづくりに向けた医療機器等の研究開発の新たな取組」 (仮)

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構 クラスタ推進センター
シニア・コーディネータ 仲西 孝弘

討議2 10:00-10:20 (20分)

「医療機器の開発ニーズ探索と製品化プロセスの課題と解決策」

ファシリテータ 西村 俊彦
スタンフォード大学 LDDDRS Director

(休憩 10分)

取組紹介3 10:30-10:50 (20分)

「産学官が一つの屋根の下でのライフサイエンス分野の研究開発を進める仕組み」 (仮)

公益財団法人 川崎市産業振興財団 理事長 三浦 淳

討議3 10:50-11:10 (20分)

「クラスタリングを誘導する組織のあり方とクラスタマネージャーの役割・資質」

ファシリテータ 大越 正弘
福島大学地域創造支援センター 教授

取組紹介4 11:10-11:30 (20分)

「独ノルトライン・ウェストファーレン州における医療機器産業のクラスター」

株式会社エヌ・アール・ダブリュージャパン
代表取締役社長 ゲオルグ・K・ロエール

討議4 11:30-11:50 (20分)

「医療機器・ヘルスケア産業のクラスター形成方策」

ファシリテータ 大越 正弘
福島大学地域創造支援センター 教授

(昼食休憩 40分)

※昼食代1,000円/人は当日申し受けます。

取組紹介5 12:30-12:50 (20分)

「創薬の合理化に向けた実験動物の活用方法とその開発現状・将来動向」 (仮)

公益財団法人 実験動物中央研究所 (実中研)
理事長 野村 龍太

討議5 12:50-13:10 (20分)

「ヒト化実験動物による創薬プロセスの合理化に向けた関係機関の連携のあり方」

ファシリテータ 西村 俊彦
スタンフォード大学 LDDDRS Director

取組紹介6 13:10-13:30 (20分)

「ふくしま医療機器開発支援センターを中心とした拠点形成の活動の取組」 (仮)

ふくしま医療機器産業推進機構 理事長 菊地 眞

討議6 13:30-13:50 (20分)

「広域的な補完連携を促進するための方策検討」

ファシリテータ 平野 正夫
株式会社マイクロン滋質 (滋質医科大学発ベンチャー) 顧問

ふくしま医療機器開発支援センターの視察 13:50-14:30 (40分)

討議7 14:30-14:50 (20分)

「ふくしま医療機器産業推進機構との補完連携の模索」

ふくしま医療機器産業推進機構 理事長 菊地 眞

【閉会】 15:00